

# 第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:茨城県 ひたちなか市 都市整備部 都市計画課

事業の名称:都市計画道路東中根高場線  
国道6号立体交差事業

実施都市名:ひたちなか市

## 事業の目的

東中根高場線は、通称『水戸・勝田環状道路』の一部を構成し、ひたちなか市、水戸市及び那珂市内の国、県道等主要な路線を環状に結び、本地域の経済活動や市民活動を支える幹線道路のネットワークを形成する要となる道路です。6号国道と交差する本区間は、国道6号へのアクセスにおいて慢性的に発生している交通渋滞の解消を図り、地域間移動の円滑化を図るとともにひたちなか地区の進展を考慮した将来の交通需要に対応する重要な立体交差事業です。

## 事業概要

事業名：都市計画道路東中根高場線国道6号立体交差

路線名：東中根高場線(稲田高架橋)

事業箇所：ひたちなか市稲田 地内

事業延長：209m

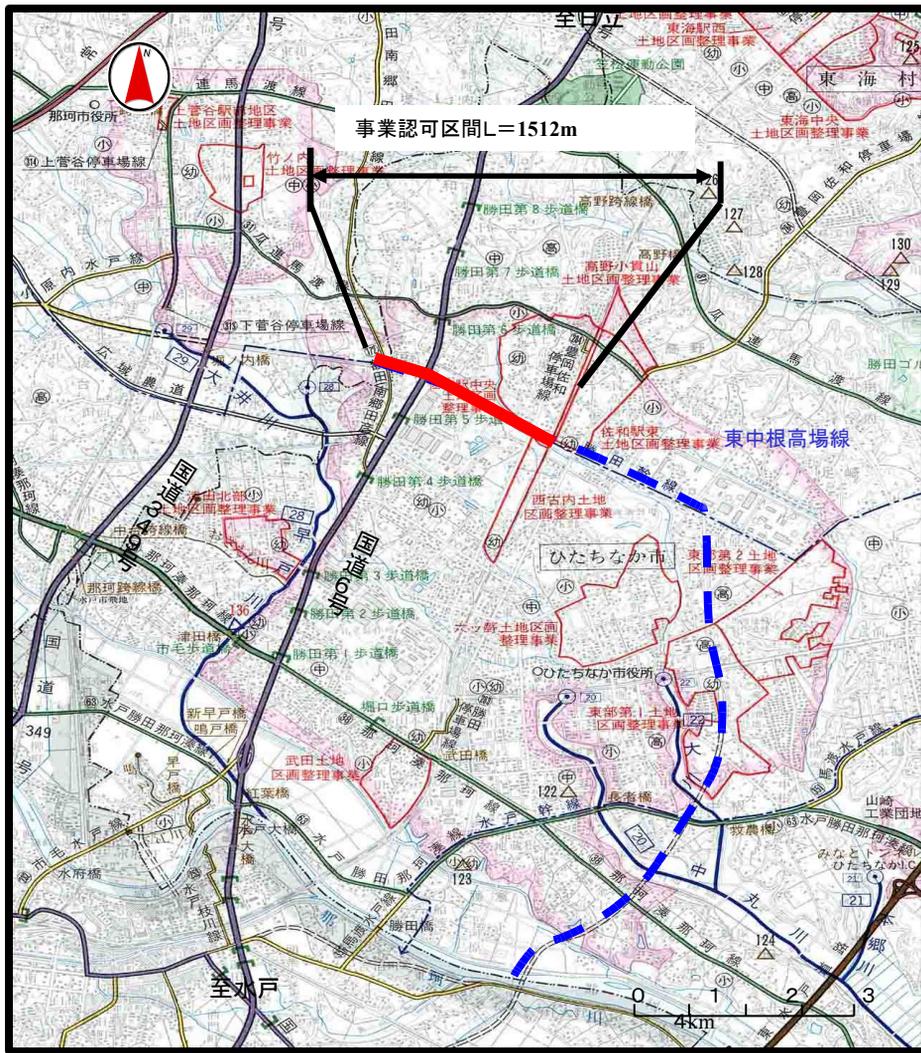
幅員：35m(4車線)

総事業費：約16億円

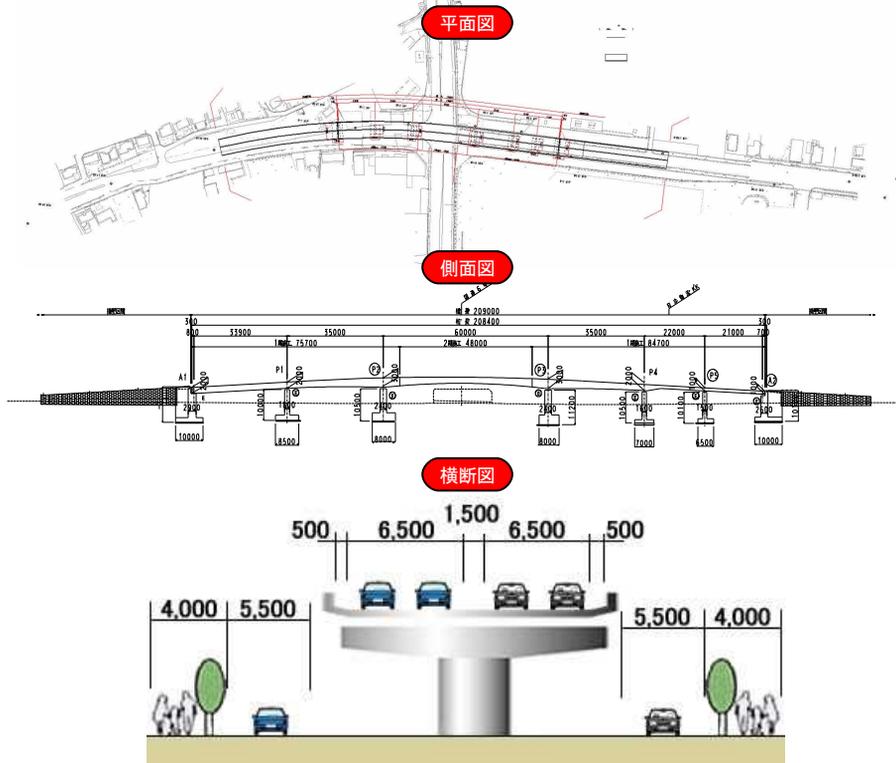
事業期間：平成15年～平成18年

事業は、国道6号の交通を妨げない工法(片持ち式張り出し工法)を用いた橋長 $L=209\text{m}$ の6径間、PCコンクリート桁橋として整備を行いました。現在、水戸・勝田環状道路として、茨城県及び関係市において道路整備を進めております。

# 事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



# 東中根高場線(稲田高架橋)の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名: 都市計画道路東中根高場線  
 国道6号立体交差事業  
 路線名: 東中根高場線(稲田高架橋)  
 事業箇所: ひたちなか市 稲田 地内  
 事業延長: L=209m  
 幅員: 35m(4車線)  
 総事業費: 約16億円  
 事業期間: H15~H18年度

## ○交通量調査結果

供用前 平成16年7月 7日  
 供用後 平成19年5月16日

### リンク)

交通量 5,985→7,008台  
 1,023台増  
 旅行時間 7分18秒→1分35秒  
 5分43秒短縮

## 「整備効果」

○東中根高場線の交通量15%増加

○旅行時間の向上

東中根高場線	上り	7分18秒⇒1分35秒
	下り	3分33秒⇒2分19秒
国道6号	上り	2分54秒⇒2分32秒
	下り	3分52秒⇒3分50秒



事業前: H16.12



事業後: H19.3

# 事業前写真

平成12年3月撮影



平成16年12月撮影

平成16年3月撮影



平成19年3月撮影



平成19年2月撮影

平成19年2月撮影

